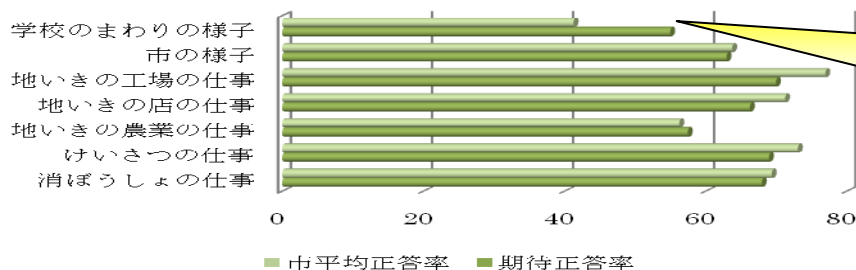


◆◆◆仙台市標準学力検査の結果と分析から◆◆◆

社会科 小学校3年生

3年生の内容の正答率



方位磁針を使って方位を調べる問題では、期待正答率を約33ポイント下回っています。

学校のまわりの様子 方位を日常的に意識できるようにしましょう

- 出題のねらい** 地図記号・方位磁針の使い方等の知識を基に、実際の調査場面で判断し、表現することができる。
- 正答率が低い要因** (1-4) 正答率 6.5% 期待正答率 40.0%  
 絵地図を基に方位磁針を使って方位を実際に記入する問題である。記述している割合が9割を超えているが、正しい方位を答えることができない児童が多かった。絵地図の中から消防署を選び出すための地図記号の理解や、方位磁針を活用して方位を調べる力が不足しているものとする。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

(1) 方位の日常化

＜教室の壁面に四方位を掲示しましょう＞

- ・「南を向いて立ちましょう。」や「東を向いて整列しましょう。」など、方位を使って具体的に指示する場面を設け、方位に対する意識化を図りましょう。

(2) 方位磁針の活用

＜方位磁針を活用して方位を調べられるようにしましょう＞

- ・方位磁針の特性や使い方を分かりやすく指導しましょう。
- ・学校から見える大きな建物や、山や海などの方位が言えるように繰り返し指導しましょう。

(3) 地図にまとめる活動

＜既習事項と地図記号との関連を図りましょう＞

- ・生活科で絵地図にまとめた活動とのつながりを意識させながら作成しましょう。
- ・地図記号を学習した後、地図上でその建物や場所の方位を読み取ることができるようにしましょう。

地いきの農家の仕事 見学で分かったことを作業暦で確認しましょう

- 出題のねらい** 地域の農家の仕事に関する図を読み取り、時期ごとの作業について考えることができる。
- 正答率が低い要因** (5-3) 正答率 30.7% 期待正答率 40.0%  
 問題文と農家の作業暦とを関連付けて解答する問題である。資料の項目を相互に関連付けて答える経験が不足していることや、問題文で問われている内容を正しく理解できていないことが要因として考えられる。

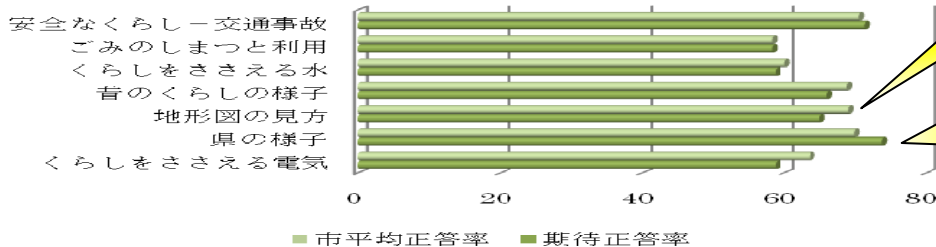
3 要因を踏まえた指導上の留意点

- (1) 「農家の作業暦」を扱う際、月と仕事内容を関連付けて調べられるように指導する。
- (2) 農家を見学した際には、見学で分かったことを基に作業内容を「作業暦」で確かめるようにする。
- (3) この単元に限らず、見学したことと資料との照合を必ず行うことが必要である。見学したことを忘れないうちに取り組みたい学習活動である。

◆◆◆仙台市標準学力検査の結果と分析から◆◆◆

社会科 小学校4年生

4年生の内容の正答率



課題だった地図や地形図の読み取りは改善されてきています。

具体的資料と文章とを関連させながら読み取る問題は、無回答も多く、期待正答率を約13ポイント下回っています。

安全なくらし 通信司令室をはじめとする関係機関の連絡体制を確認しましょう

1 出題のねらい 交通事故がおきたときの、関係諸機関の連絡体制について理解している。

2 正答率が低い要因 (1-2) 正答率 29.9% 期待正答率 55%)

けが人を運ぶため救急車を要請する関係機関についての問題である。児童の約6割が「消防署」ではなく「病院」と誤答している。「けが人=病院=救急車」と思い込んでいるものと思われ、関係機関の役割に対する理解が十分でないと考えられる。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

- (1) 教科書や資料集の図を活用し、警察署、消防署など関係諸機関が相互に連携している様子をつかませる。
- (2) 通信司令室や消防署の見学後、連携している部署を線で結ぶなどの活動を通して定着を図る。

県の様子 具体的資料を読み取る活動を取り入れましょう

1 出題のねらい 漁業に関する資料を読み取って、森林のはたらきと水産資源との関係について表現することができる。

2 正答率が低い要因 (6-4) 正答率 37.3% 期待正答率 50%)

具体的資料(絵図)と文章とを関連させながら、森林のはたらきと水産資源との関係を説明する問題である。絵図を読み取りながら考える問題の多くは、正答率が低い傾向にある。(3-4) 正答率 39.7% 期待正答率 50% 4-(3) ③正答率 38.5% 期待正答率 55%)。このことは、授業の中で絵図や写真などの具体的資料を読み取らせる際、着目する観点を示したり、視点を絞ったりすることが不足しているものと考えられる。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

- (1) 絵図や写真資料を見る際、どこに着目したかを発表し合い、多様な見方があることに気付かせる。
- (2) 読み取った情報(キーワード)の関連性を考え、資料から分かることをまとめていく。

大漁旗がある！



木を植えている写真だね。

【話し合いの流れ(例)】

- 写真から分かることを発表する。「たくさんの方が木を植えている。」
- 自分のこれまでの考えから理解できることと矛盾することを発表する。「山に植林するのは当然だが、なぜ大漁旗があるのか？ 旗は漁船につけるはずだ。」
- 矛盾することが、なぜ見られるのかを考える。「山で大漁旗を飾るのはなぜだろうか。」
- 二つの事実から推測できることを発表する。「木を植えることと魚がとれることには関係があるんだ。」

どうして大漁旗を立てたのだろうか？

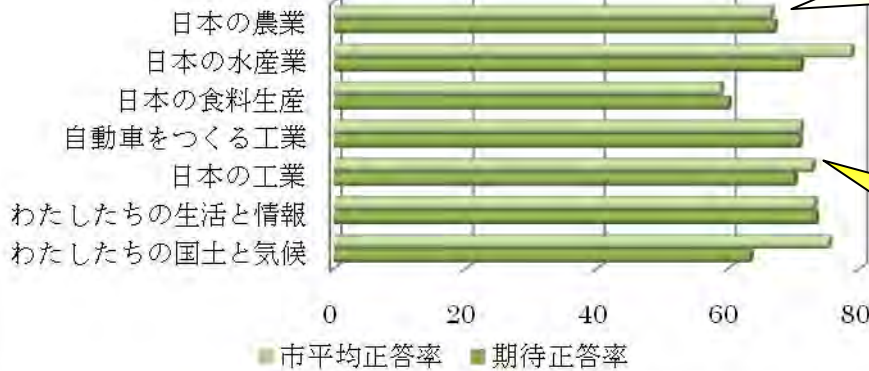
出典『わたしたちの宮城県』

植樹祭の様子

◆◆◆仙台市標準学力検査の結果と分析から◆◆◆

社会科 小学校5年生

5年生の内容の正答率



農業試験場の役割として、品種改良についての理解を問う問題では期待正答率を5ポイント下回っています。

地図資料とグラフの二つの資料を関連付けて考える応用問題では期待正答率を20ポイント以上下回っています。

日本の農業 社会的事象についての知識・理解を確実に身に付けさせましょう

- 出題のねらい 品種改良について理解している。
- 正答率が低い要因 (1-2) 正答率 44.9% 期待正答率 50.0%  
農業試験場の役割を説明する文章の穴埋め式の問題である。農業試験場の役割についての理解が不十分であり、品種改良という基本的な知識が身に付いていないと考える。
- 要因を踏まえた指導上の留意点
  - 農家や農家を支える人たちの役割をしっかりとさえる。
  - それぞれの人たちが協力し合って、味の向上や安全確保に努めていることに気付かせる。

米をおいしく安全に届けるための輸送や流通の仕組みも大切です!

**農業共同組合 (JA)**

- 地域の栽培計画を立てる
- 技術の指導
- 農機具や肥料の販売

**農家同士の協力**

- 地域の共同作業
- 機械の共同購入
- おいしい米作りの勉強会

**農業試験場**

- 品種改良の研究
- 有機農業など技術研究
- 米の生育調査

自動車をつくる工業 複数の資料を関連付けて読み取る力を付けましょう

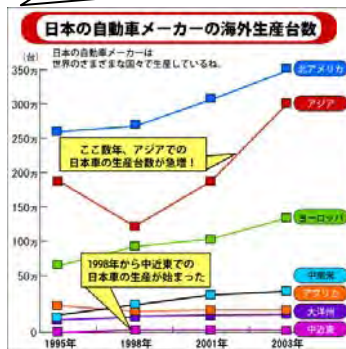
- 出題のねらい 資料を読み取り、日本の自動車会社が中国での生産を増やした理由を考える。
- 正答率が低い要因 (4-2) 正答率 17.7% 期待正答率 40.0%  
海外工場の分布図と3か国の賃金を表すグラフを関連付けて読み取る問題である。正答に至らない記述が71.8%も見られる。題意をとらえ複数の資料を関連付けて考える力が十分でないと考える。
- 要因を踏まえた指導上の留意点

資料の読み取りを通して話し合いを深める学習に取り組んでみましょう!

日本の自動車の輸出額を表したグラフです。気付いたことを発表しましょう!



日本の自動車メーカーが海外で生産している台数を表したグラフです。どんなことが分かるでしょう?



**地図帳で位置を確かめながら自分の考えを発表しましょう!**

- ☆アメリカ合衆国への輸出が一番多い。
- ヨーロッパやオーストラリア、中国などいろいろな地域に輸出している。
- ☆北アメリカでの生産がとても多い。輸出の多い国々でも生産している。
- ☆アジアでの生産が急激に増えている。

日本車を輸出している国々で、現地生産しているのはなぜだろう?

貿易摩擦、技術の輸出、現地生産の利点などの学習につなげていきましょう!

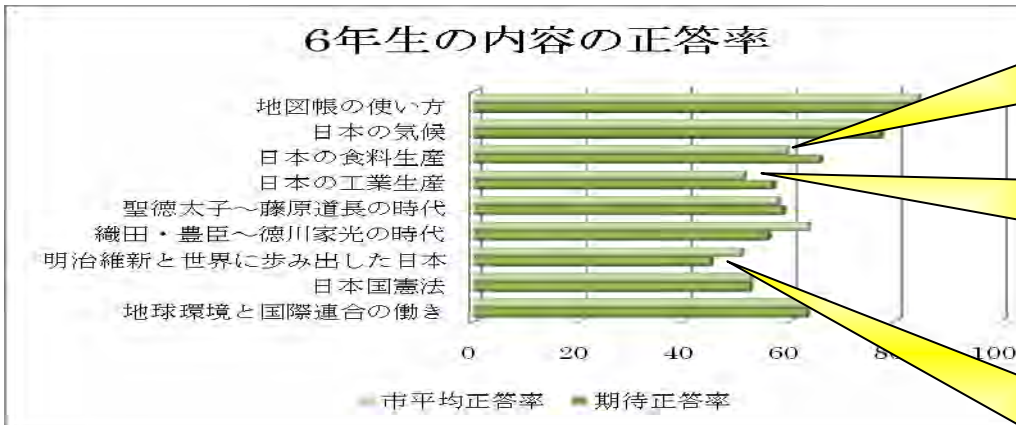
※出典『なるほど統計学園』総務省統計局

※出典『よみうり博士のアイデアノート』

◆◆◆仙台市標準学力検査の結果と分析から◆◆◆

社会科 小学校6年生

6年生の内容の正答率



栽培漁業についての知識・理解を問う問題では、期待正答率を約 25 ポイント下回っています。

自動車の製造の過程を理解しているかを問う問題では、期待正答率を約 26 ポイント下回っています。

全体的には期待正答率よりも高くなっているが、日清戦争の背景について理解しているかを問う問題では、18.6 ポイント下回っています。

日本の食糧生産 統計資料と関連させて違いを明確にしましょう

1 出題のねらい

栽培漁業について理解している。

2 正答率が低い要因 (2-(5) 正答率 15.1% 期待正答率 40.0%)

本問題は、様々な漁業形態の中から、問題文で説明されている漁業形態の名前を答えるものである。問題文の「たまごから」「海や川へ放流」「成長させて」などの語句をキーワードにして「さいばい漁業」と答えるべきであるが、およそ半数の児童がそれ以外の語句を答えている。これは、他の漁業形態（特に養殖漁業）との違いを正しく理解できていなかったためではないかと考える。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

- (1) 漁業の様々な形態とそれぞれどのような方法で行われているかについて、その違いを明確に説明できるように教科書や資料集などを活用して確かめさせる。また、「漁業別の生産量の変化」のグラフなどの統計資料と関連させて指導することで、漁業形態の変化に気付かせ、知識の定着を図るようにする。
- (2) 養殖漁業と栽培漁業の違いについて、漁獲するまでの過程を図示して教室内に掲示するなど、学習環境を整備し、児童が双方の漁法をイメージしやすいようにする。
- (3) 近年、なぜ「さいばい漁業」が増えてきたのかなど、漁法の変化について理由（自然環境や消費者の需要に応じるなど）を考える活動を授業に取り入れ、その違いや形態の変化などを理解できるようにする。

日本の工業生産 説明されている事柄と製造工程を結び付けましょう

1 出題のねらい

自動車の製造の工程を理解している。

2 正答率が低い要因 (3-(1)-① 正答率 23.8% 期待正答率 50.0%)

本問題は、自動車を組み立てる手順について書かれたカードを、「とそう」「ようせつ」「組み立て」それぞれの工程について説明された文章を読み、組み立てまでの手順を整理し、正しい順序に並べ替えたものを選ぶものである。この中で、多くの児童は工程の最後に「とそう」を選んでいる。これは、説明されている一つ一つの工程の内容については理解できているが、自動車を組み立てるそれぞれの工程の関連が具体的に理解できていないものと考えられる。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

- (1) 自動車が組み立てられるまで、どのような工程があり、どのように関連しているのかを正しく理解させるために、教科書や資料集などの写真、Web 上で公開されている各自動車会社による動画などの映像資料を積極的に活用し、実際の作業のイメージをもたせながら学習活動を展開させることが大切である。その際、写真や画像についての説明と重ねながら学習展開を図り、製造工程について理解できるようにする。
- (2) 自動車を製造するに当たって、こうした作業の一つ一つがどのように関連し、どのような点が効率的なのかについて、児童が自分の考えを述べ合う学習活動を取り入れる。例えば、工程別のカードを準備し、調べたことを基にしてカードを並べ変えるなどして自動車の製造工程を説明できるようにする。

1 出題のねらい

日清戦争の背景について、資料を読み取って考え、表現することができる。

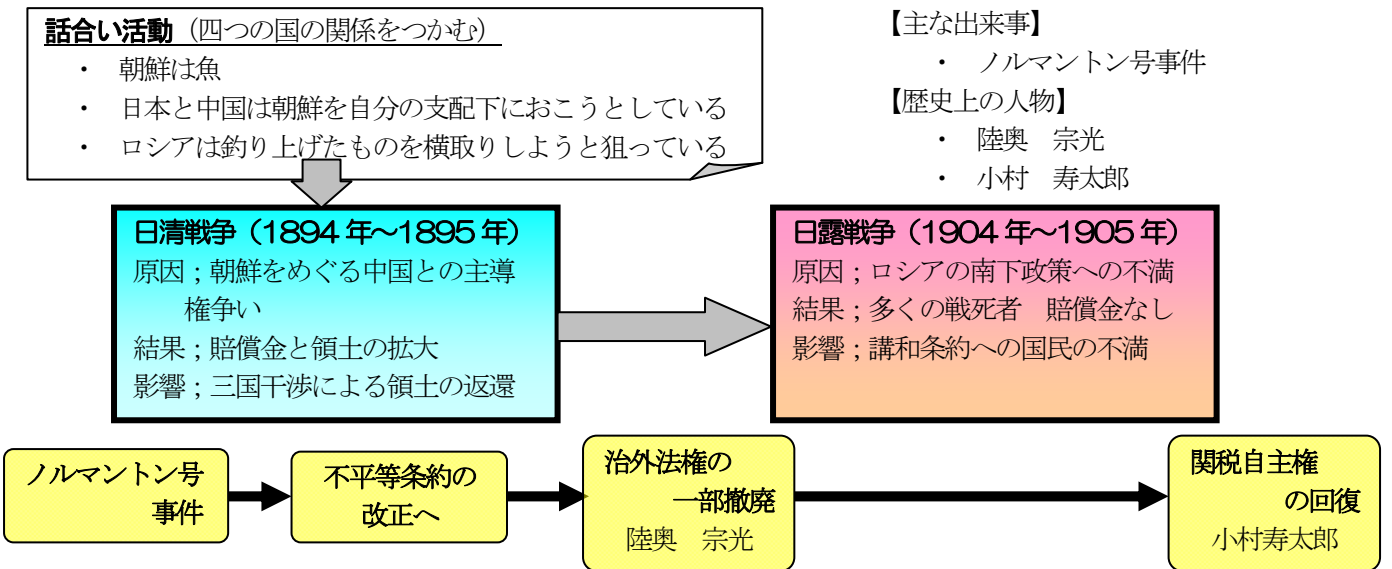
2 正答率が低い理由 (6-③ 正答率 11.4% 期待正答率 30.0%)

本問題は、資料を読み取り、日清戦争の原因について「朝鮮」という言葉を使って学習のまとめの見出しを考える問題である。しかし、解答傾向を見てみると、正しく書くことができたのは、全体の 6.2%にとどまり、ほとんどの児童は、日清戦争という歴史的事象については知っているが、この戦争の原因が日本・中国・朝鮮の3か国相互の関係にあったことや、朝鮮をめぐる日本と中国が戦ったことなどについて十分理解できていない。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

(1) 歴史的事象についてまとめる際、それぞれの項目を関連させて考えさせる。歴史上の出来事は、様々な要因が関連して起こっていることが多い。そこで、それが「いつ」、「どこで」、「どんなこと」が起きたのかだけではなく、「どんな人が」、「どんな思いで」などといった問いかけから、教科書の本文や資料、資料集などを参考にして、簡潔なキーワードを通してまとめさせる。さらに、そのキーワードを結び付けて一つの出来事を説明できるような学習場面を設定し、児童の歴史的な認識を育てるようにする。

(2) 【学習活動例】・・・二つの戦争と条約改正のつながりをおさえた学習を展開しましょう。



1 出題のねらい

日常生活で守られている平等権について考えることができる。

2 正答率が低い理由 (7-③ 正答率 26.5% 期待正答率 35.0%)

本問題は、「車いすマーク」について調べたメモを基に、このマークと最も関係の深い基本的人権の一つ「平等権」について説明されている項目を選ぶものである。各項目は、日本国憲法の中で基本的人権として保障されている様々な権利について述べられているものである。それぞれの権利が、具体的に生活の中でどのように生かされているのか十分に理解できていなかったものと考えられる。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

(1) 教科書や資料集で示されている「国民の権利」を整理するとき、日常生活の中でどのように生かされているのか、身近な生活の場面を取り上げて考えさせる。

(2) 【学習活動例】

